

2.2.2 資金配分制度の目標と成果

(1) 資金配分制度の目標と成果指標

今回新たに、資金配分制度毎に制度としての目標設定と成果指標について調査を行った。

対象とした資金配分制度は全て、制度としての目標設定が行われている¹。目標を評価するために使用される具体的成果指標は資金配分制度毎の特性を踏まえて多種多様であるが、以下のような種類に分類できる（表 2-8）。

- 学術に関わるもの
（論文・口頭発表、論文引用、科学賞の受賞）
- 研究開発の発展性に関わるもの
（学民および産学官の共同研究、自ら研究開発継続、他の資金配分制度での採択）
- 知財に関わるもの
（特許等、標準化）
- 研究成果の活用に関わるもの
（成果利用・課題解決、実用化、臨床医療に貢献、起業実績）
- 研究開発の波及効果に関わるもの
（社会・経済への波及効果、企業化、将来市場予測）

¹ 科学技術振興機構の「高度研究人材活用促進事業」「企業研究者活用型基礎研究推進事業」は、既存制度で採択された課題の加速化を目的とした補正予算事業であるため除外した。

具体的な成果指標についてみると、各法人はそれぞれの制度の目的に応じ様々な指標の設定を行っている。特徴的なものとしては、科学技術振興機構では「発展性」や「知財」さらに「成果活用」等、幅広い要素が考慮されていることがあげられる。また、新エネルギー・産業技術総合開発機構では、「知財（標準化）」や「成果活用（成果利用、実用化）」に、医薬基盤研究所では「成果活用（臨床医療に貢献）」に重点を置いた指標設定が行われている。

表 2-8 資金配分制度の目標と成果指標の設定事例

【法人名】制度	目標の区別の有無	成果指標														
		学術			発展性			知財		成果活用			波及効果			
		論文等	引用	受賞	学民・産学官共同研究	自ら研究継続	他制度採択	特許等	標準化	成果利用	実用化	臨床医療に貢献	起業実績	社会・経済波及	企業化	市場予測
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	○	○					○	○							●	
【NICT】民間基盤技術研究促進制度							○									
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業を含む)		○	○	○	○		○		○					○		
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業		○	○			○								○		○
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業		○				○	○	○			○			○		
【JST】研究成果最適展開支援事業						○	○	○			○		○	○		
【JST】産学共同シーズイノベーション化事業						○	○	○						○		○
【JST】独自のシーズ展開事業						○		○			○		○	○		
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業						○	○	○			○		○	○		
【JST】重点地域研究開発推進プログラム					○	○	○	○			○			○		
【JST】地域卓越研究者戦略的結集プログラム					○			○			○			○		
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(共同研究型)		○						○						○		
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力		○						○		○				○		
【JST】地域結集型研究開発プログラム等		○						○						○		
【JSPS】科学研究費補助金		○														
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	○							○				●				
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	○	○						○		○				●		
【NEDO】実用化・企業化促進事業(大学発事業創出実用化研究開発事業)	○								○	○	●					
【NEDO】実用化・企業化促進事業(エコイノベーション推進事業)	○								○	○	●					
【NEDO】実用化・企業化促進事業(省エネルギー革新技术開発事業)	○								○	○	●					
【NEDO】技術シーズの育成事業(産業技術研究助成事業)	○	○							○							
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型特別研究	○									●						
【JST】バイオインフォマティクス推進センター事業		○												○		
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(研究交流型)		○												○		
【NIBIO】医薬品・医療機器実用化研究支援事業	○									○	●				○	
【NIBIO】希少疾病用医薬品等試験研究助成金	○										●					
【NARO】民間実用化研究促進事業																○
【NEDO】ナショナルプロジェクト	○					●		○	○	○	●			○		
【NEDO】実用化・企業化促進事業(競争的資金制度除く)	○							○	○	○	●					

(注)「目標の区別の有無」: ○ 目標についてアウトプットとアウトカムの区別あり
「成果指標」: ○ 指標あり ● アウトカム目標としての指標あり

資金配分独法7法人が設置している競争的資金22制度及び競争的資金以外7制度(合計29制度)の内、12制度では「アウトプット目標」と「アウトカム目標」を区別してそれぞれ定義がなされている。アウトプット目標・アウトカム目標を区別して定義している事例としては以下があげられる。

表 2-9 アウトプット目標・アウトカム目標の設定例

資金配分制度名	アウトプット目標	アウトカム目標
【情報通信研究機構】 新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	特許申請／取得件数 意匠登録数 商標登録数 標準化提案／採択数 論文数 等	企業化の進捗状況等
【医薬基盤研究所】 保健医療分野における基礎研究推進事業	査読付論文発表数 特許出願件数の増加	医薬品・医療機器の製造販売承認および臨床現場供給
【医薬基盤研究所】 医薬品・医療機器実用化研究支援事業		委託先企業が医薬品等を開発し、収益を得て、医薬基盤研究所に売上納付金を納付すること
【医薬基盤研究所】 希少疾病用医薬品等試験研究助成金	助成金交付実績(助成した希少疾病用医薬品等の品目数)	助成金を交付した希少疾病用医薬品等が規制当局に申請され、製造販売承認を受け、臨床現場に供給されること
【新エネルギー・産業技術総合開発機構】 ナショナルプロジェクト	特許出願件数 国際標準化(提案件数など)	継続事業の比率
【新エネルギー・産業技術総合開発機構】 実用化・企業化促進事業	国際標準化(標準化に関する基本計画数、提案数)	実用化達成率
【新エネルギー・産業技術総合開発機構】 技術シーズの育成事業(産業技術研究助成事業)	査読済み研究論文の予算当たりの発表数 国際標準化(標準化に関する基本計画数、提案数)	
【石油天然ガス・金属鉱物資源機構】 石油天然ガス開発促進型大型研究 石油天然ガス開発促進型特別研究	石油天然ガス開発技術(GTL 技術含む、メタハイ開発技術含まない)における、基礎から応用、応用から実証段階における独創的、革新的研究成果	・本邦石油会社が産油ガス国における新規権益を獲得する上で梃子となりうる新規技術の獲得 ・石油業界以外の先進技術(ロボット工学、材料技術、バイオ工学、ナノテク、情報技術等)の、石油天然ガス開発技術への応用

(2) 資金配分制度の成果指標の例

(a) 学術に関わるもの

論文発表数を成果指標として設定している制度の例を以下に示す。

表 2-10 成果指標の例（論文発表数）

【法人名】資金配分制度名	論文発表数
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	103
【JST】戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発事業除く）	4,557
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業*	2
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業	361
【JST】バイオインフォマティクス推進センター事業	98
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業（研究交流型）	538
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業（共同研究型）*	0
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力事業	117
【JST】地域結集型共同研究事業	1
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	485
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	591
【NEDO】技術シーズの育成事業（産業技術研究助成事業）	620

*平成21年度に開始した事業

その他の学術に関わる特徴的な成果指標の例を以下に示す。

- 本事業における研究が国際的に高い水準にあることを目指す。その指標として、論文被引用回数、国際的な科学賞の受賞数、招待講演数等の定量的指標を活用する。
【科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発事業除く）」】

(b) 発展性に関わるもの

研究開発の発展性に関わる特徴的な成果指標の例を以下に示す。

- （育成研究）研究開発終了後3年が経過した時点で、企業化に向けて他制度あるいは企業独自で継続しており、十分に企業化が期待できる研究開発課題の割合、既に企業化された研究開発課題の割合の合計が各プラザ・サテライトにおける評価対象研究開発課題の3割以上となること。
（地域卓越研究者戦略的結集プログラム）研究開発終了後5年が経過した時点で、すべての評価対象課題について、招聘した研究者が参画し、企業化に向けた産学官共同による研究開発を継続していることを目指す。
【科学技術振興機構「地域イノベーション創出総合支援事業」】

(c) 知財に関わるもの

特許出願数を成果指標として設定している制度の例を以下に示す。

表 2-11 成果指標の例（特許出願数）

【法人名】資金配分制度名	特許出願件数(国内)	特許出願件数(海外)
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	24	1
【NICT】民間基盤技術研究促進制度	30	11
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業除く)	590	202
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業 ^{*1}	0	0
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業	103	34
【JST】研究成果最適展開支援事業	6	3
【JST】産学共同シーズイノベーション化事業	30	4
【JST】独創的シーズ展開事業	63	28
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業 ^{*1}	0	0
【JST】地域イノベーション創出総合支援事業	720	67
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(共同研究型) ^{*1}	0	0
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力 ^{*2}	0	0
【JST】地域結集型共同研究事業	14	2
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	96	
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	76	9
【NEDO】ナショナルプロジェクト ^{*3}	921	282

^{*1}平成21年度に開始した事業

^{*2}平成20年度に開始した事業

^{*3}【NEDO】ナショナルプロジェクトの数値は、新エネルギー・産業技術総合開発機構全体の数値である

その他の知財に関わる特徴的な成果指標の例を以下に示す。

- アウトプット目標は、特許申請／取得件数（国内／海外）、意匠登録数、商標登録数、標準化提案／採択数、論文数等。
【情報通信研究機構「新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援」】
- 毎年度、以下の項目に関する数値目標を設定し、その達成を図る。
①研究開発プロジェクトにおける標準化に係る取組を含んだ基本計画数
②機構の事業における ISO 等の国内審議団体または ISO 等への標準化に関する提案件数
【新エネルギー・産業技術総合開発機構「実用化・企業化促進事業」】

(d) 成果活用に関わるもの

研究成果の活用に関わる特徴的な成果指標の例を以下に示す。

- (大学発ベンチャー創出の推進)平成15年度以降に採択された課題のうち、研究開発期間終了後1年以上を経過した課題について、起業に至る課題の割合が6割以上を維持することを目指す。これまで設立されたベンチャー企業のうち、その後の成長が認められる企業(設立後第3期決算までに増資している、売り上げが増加している又は従業員が増加している企業)の割合が6割以上となることを目指す。
【科学技術振興機構「独創的シーズ展開事業」】
- アウトカム目標:助成金を交付した希少疾病用医薬品等が規制当局に申請され、製造販売承認を受け、臨床現場に供給されること。

【医薬基盤研究所「希少疾病用医薬品等試験研究助成金」】

(e) 波及効果に関わるもの

研究成果の波及効果に関わる特徴的な成果指標の例を以下に示す。

- アウトカム目標：委託先企業が医薬品等を開発し、収益を得て、医薬基盤研究所に売上納付金を納付すること。
【医薬基盤研究所「医薬品・医療機器実用化研究支援事業」】
- 機構は、挑戦的な課題を採択しつつ、平成9年度以降の開発終了課題製品化率が2割以上を維持することを目指す。【科学技術振興機構「独創的シーズ展開事業」】

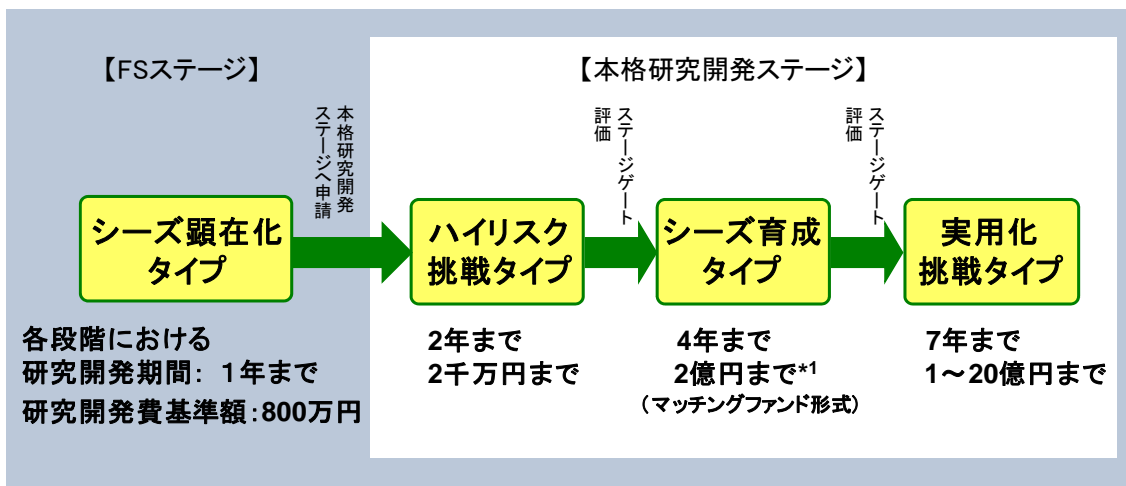
2.2.3 研究開発期間の設定状況

調査により抽出した40の制度に関して、研究開発の期間について整理してみると、最長5年の制度が15制度と最も多くなっている。その他の期間としては、最長3年が10制度、2年が4制度、1年、4年及び6年がそれぞれ2制度となっている他、最長7年以上のものも5制度存在する。

【法人名】資金配分制度名	研究開発期間											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
【NEDO】ナショナルプロジェクト	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】研究成果最適展開支援事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】独創的シーズ展開事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NIBIO】希少疾病用医薬品等試験研究助成金	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】社会技術研究開発事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】地域結集型共同研究事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(S))	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(若手研究(S))	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(学術創成研究費)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業除く)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(共同研究型)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(A))	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(B))	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(C))	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】バイオインフォマティクス推進センター事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】地域イノベーション創出総合支援事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NIBIO】医薬品・医療機器実用化研究支援事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NEDO】技術シーズの育成事業(産業技術研究助成事業)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】産学共同シーズイノベーション化事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(研究交流型)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NARO】民間実用化研究促進事業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NEDO】実用化・企業化促進事業(大学発事業創出実用化研究開発事業)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NEDO】実用化・企業化促進事業(競争的資金制度を除く)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NEDO】実用化・企業化促進事業(エネルギー使用合理化戦略的開発)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NEDO】実用化・企業化促進事業(省エネルギー革新技術開発事業)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NICT】民間基盤技術研究促進制度	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(若手研究(スタートアップ))	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型大型研究	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型特別研究	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【JSPS】科学研究費補助金(奨励研究)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
【NEDO】実用化・企業化促進事業(エコイノベーション推進事業)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

図 2-10 研究開発期間の幅(資金配分制度別)

なお、資金配分制度の中には、研究リスク・研究フェーズに応じて多様な研究開発期間を設定している制度もある。代表例として科学技術振興機構「研究成果最適展開支援事業」における研究開発期間の設定事例を図 2-11 に示す。



*1 資本金10億円以下の企業の場合は、企業の支出額に対し、科学技術振興機構はその2倍までの額を支出する。

図 2-11 研究開発期間の多様な設定事例
(科学技術振興機構「研究成果最適展開支援事業」の例)

2.3 資金配分法人のマネジメントに関する状況

2.3.1 公平で透明性の高い審査体制の確立

第3期科学技術基本計画では、「競争的資金の配分にあたっては、研究者の地位や肩書きによらず、申請内容と実施能力を重視した公平で透明性の高い研究課題の審査が不可欠であり、審査体制の抜本的強化に取り組む」ことが求められている。

(1) 審査員数

各資金配分制度における審査員の登用人数を表2-12に示す。審査員の人数が最も多いのは、日本学術振興会の「科学研究費補助金」の7,001人で、次いで新エネルギー・産業技術総合開発機構の「ナショナルプロジェクト」で5,927人となっている。

表 2-12 資金配分制度の審査員の確保状況（資金配分制度別）

【法人名】資金配分制度名	競争的資金	審査員数 【人】	内、産業界		内、若手研究者		内、外国人研究者	
			人数	審査員に 占める割合	人数	審査員に 占める割合	人数	審査員に 占める割合
【JSPS】科学研究費補助金	○	7,001	25	0.4%	29	0.4%	32	0.5%
【NEDO】ナショナルプロジェクト	—	5,927	1,847	31.2%	42	0.7%	3	0.1%
【JST】地域イノベーション創出総合支援事業	○	2,051	214	10.4%	0	0.0%	0	0.0%
【NEDO】実用化・企業化促進事業（競争的資金制度を除く）	—	690	100	14.5%	8	1.2%	0	0.0%
【NEDO】実用化・企業化促進事業（大学発事業創出実用化研究開発事業）	○	442	61	13.8%	6	1.4%	0	0.0%
【JST】戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発事業除く）	○	422	44	10.4%	1	0.2%	7	1.7%
【NEDO】実用化・企業化促進事業（省エネルギー革新技術開発事業）	○	150	30	20.0%	1	0.7%	0	0.0%
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業（研究交流型）	—	138	7	5.1%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】独創的シーズ展開事業	○	130	36	27.7%	1	0.8%	0	0.0%
【JST】研究成果最適展開支援事業	○	129	48	37.2%	0	0.0%	0	0.0%
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	○	105	4	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】産学共同シーズイノベーション化事業	○	68	27	39.7%	0	0.0%	0	0.0%
【NEDO】技術シーズの育成事業（産業技術研究助成事業）	○	59	21	35.6%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力事業	○	52	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】企業研究者活用型基礎研究推進事業	○	48	10	20.8%	0	0.0%	0	0.0%
【NICT】民間基盤技術研究促進制度	○	46	9	19.6%	1	2.2%	0	0.0%
【JST】社会技術研究開発事業	○	40	5	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業	○	33	13	39.4%	0	0.0%	0	0.0%
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	○	27	5	18.5%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業	○	25	7	28.0%	0	0.0%	0	0.0%
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	○	21	11	52.4%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業（共同研究型）	○	21	1	4.8%	0	0.0%	0	0.0%
【NARO】民間実用化研究促進事業	—	17	6	35.3%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】高度研究人材活用促進事業	○	16	4	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
【NIBIO】医薬品・医療機器実用化研究支援事業	—	15	3	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】地域結集型共同研究事業	○	12	4	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業	○	11	3	27.3%	0	0.0%	0	0.0%
【NEDO】実用化・企業化促進事業（エコイノベーション推進事業）	○	10	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
【JOGMEC】石油・天然ガス開発・利用促進型事業	○	8	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
【JST】バイオインフォマティクス推進センター事業	—	6	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体		17,720	2,548	14.4%	89	0.5%	42	0.2%

(2) 審査員の多様性

研究成果の技術移転・事業化を重視する観点から、産業人の評価者への登用は比較的多い。資金配分制度別にみると、産業界からの審査員登用数が最も多いのは、新エネルギー・産業技術総合開発機構の「ナショナルプロジェクト」で1,847人、審査員数の約3割を占めている。産業界から登用数の比率が最も高いのは、情報通信研究機構「新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援」で審査員数の半数以上（52.4%）を占めている。産業界からの審査員登用の比率は、競争的資金に関する26の資金配分制度のうち、6の資金配分制度において3割以上と高い割合を占めている。

若手研究者の登用数が最も多いのは、新エネルギー・産業技術総合開発機構の「ナショナルプロジェクト」で42人となっているが、審査員総数に占める比率は0.7%と低い。いずれの資金配分制度でも若手研究者の比率は依然低い状況にある。

外国人研究者の登用数が最も多いのは、日本学術振興会の「科学研究費補助金」で32人となっているが、その比率は0.5%にとどまっている。

平成20年度と比較した場合の産業界・若手研究者・外国人研究者の審査員への登用の状況を表2-13に示す。産業界からの審査員の数については19制度、若手研究者による審査員の数については11制度、外国人研究者数による審査員の数については12制度で増加が見られた。外国人研究者の審査員登用数を増やした法人が平成20年度の2法人から3法人に増加しており、外国人研究者を審査員に登用する体制が拡充されつつある。特筆すべき取組としては、以下の事例があげられる。

- 通信・放送分野におけるニュービジネスの創出に資することを目的として支援を行っており、従来から事業実施に係る財務状況も審査の対象としていたところ。この審査をより実務に即した形で行うため、平成21年度より企業会計の専門家（公認会計士）を評価委員会のメンバーに加えた。【情報通信研究機構「新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援」】
- 相手国の研究資金配分機関と合同審査を行うこともあり、その際には外国人が審査員として参画している。【科学技術振興機構「戦略的国際科学技術協力推進事業」】

表 2-13 平成 20 年度からの審査員の人数の増減（資金配分制度別）

【法人名】資金配分制度名	産業界	若手研究者	外国人研究者
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	→	→	→
【NICT】民間基盤技術研究促進制度	↓	→	→
【JST】戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発事業除く）	→	↓	↑
【JST】企業研究者活用型基礎研究推進事業	/	/	/
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業	/	/	/
【JST】社会技術研究開発事業	↓	↓	→
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業	↑	→	→
【JST】研究成果最適展開支援事業	/	/	/
【JST】高度研究人材活用促進事業	/	/	/
【JST】産学共同シーズイノベーション化事業	↓	→	→
【JST】独創的シーズ展開事業	→	→	→
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業	/	/	/
【JST】地域イノベーション創出総合支援事業	↑	→	→
【JST】バイオインフォマティクス推進センター事業	→	→	→
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業（研究交流型）	→	→	→
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業（共同研究型）	/	/	/
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力事業	↑	→	→
【JST】地域結集型共同研究事業	→	→	→
【JSPS】科学研究費補助金（基盤研究（S））	↑	↑	↑
【JSPS】科学研究費補助金（基盤研究（A））	↑	↑	↑
【JSPS】科学研究費補助金（基盤研究（B））	↑	↑	↑
【JSPS】科学研究費補助金（基盤研究（C））	↑	↑	↑
【JSPS】科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）	↑	↑	↑
【JSPS】科学研究費補助金（若手研究（S））	↑	↑	↑
【JSPS】科学研究費補助金（若手研究（スタートアップ））	↑	↑	↑
【JSPS】科学研究費補助金（奨励研究）	↑	↑	↑
【JSPS】科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	↑	↑	↑
【JSPS】科学研究費補助金（学術創成研究費）	↑	↑	↑
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	↓	→	→
【NIBIO】医薬品・医療機器実用化研究支援事業	→	→	→
【NIBIO】希少疾病用医薬品等試験研究助成金	→	→	→
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	↑	→	→
【NARO】民間実用化研究促進事業	→	→	→
【NEDO】ナショナルプロジェクト	↑	↑	↑
【NEDO】実用化・企業化促進事業（競争的資金制度を除く）	↑	↓	→
【NEDO】実用化・企業化促進事業（大学発事業創出実用化研究開発事業）	↑	↓	→
【NEDO】実用化・企業化促進事業（エコイノベーション推進事業）	↑	→	→
【NEDO】実用化・企業化促進事業（エネルギー使用合理化戦略的開発）	↓	↓	→
【NEDO】実用化・企業化促進事業（省エネルギー革新技術開発事業）	↑	→	→
【NEDO】技術シーズの育成事業（産業技術研究助成事業）	↓	→	→
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型大型研究	→	→	→
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型特別研究	→	→	→
	平成20年度と比較して： ↑：増加した →：変わらない ↓：減少した /：対象外（新規事業など）		

(3) 審査員の管理

審査員のデータベースの整備状況については、34 制度で「整備している」、6 制度で「整備していない（現時点では整備予定なし）」と回答している。法人別にみると農業・食品産業技術総合研究機構、石油天然ガス・金属鉱物資源機構は、「整備していない（現時点では整備予定なし）」となっており、石油天然ガス・金属鉱物資源機構で整備していない理由としては、「各審査員の履歴情報で代替」があげられている。審査員のデータベース整備の効果の特筆すべき取組としては、以下の事例があげられる。

- 平成 16 年度から「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。データベースは、年々登録者数を充実し、平成 22 年度には、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約 5 万 9 千名を登録しており、登録情報（所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など）については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【日本学術振興会「科学研究費補助金」】

表 2-14 審査員のデータベースの整備された資金配分制度（34 制度）

【法人名】資金配分制度名
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援
【NICT】民間基盤技術研究促進制度
【JST】戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発事業除く）
【JST】企業研究者活用型基礎研究推進事業
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業
【JST】社会技術研究開発事業
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業
【JST】研究成果最適展開支援事業
【JST】高度研究人材活用促進事業
【JST】産学共同シーズイノベーション化事業
【JST】独創的シーズ展開事業
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業
【JST】地域イノベーション創出総合支援事業
【JST】バイオインフォマティクス推進センター事業
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業（研究交流型）
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業（共同研究型）
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力事業
【JST】地域結集型共同研究事業
【JSPS】科学研究費補助金（基盤研究（S））
【JSPS】科学研究費補助金（基盤研究（A））
【JSPS】科学研究費補助金（基盤研究（B））
【JSPS】科学研究費補助金（基盤研究（C））
【JSPS】科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）
【JSPS】科学研究費補助金（若手研究（スタートアップ））
【JSPS】科学研究費補助金（奨励研究）
【JSPS】科学研究費補助金（特別研究員奨励費）
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業
【NEDO】ナショナルプロジェクト
【NEDO】実用化・企業化促進事業（競争的資金制度を除く）
【NEDO】実用化・企業化促進事業（大学発事業創出実用化研究開発事業）
【NEDO】実用化・企業化促進事業（エコイノベーション推進事業）
【NEDO】実用化・企業化促進事業（エネルギー使用合理化戦略的開発）
【NEDO】実用化・企業化促進事業（省エネルギー革新技術開発事業）
【NEDO】技術シーズの育成事業（産業技術研究助成事業）

(注) 新規募集停止の【JSPS】科学研究費補助金（若手研究（S）、学術創成研究費）は除外した。

(4) 審査結果等の公開・フィードバック

審査結果・採択課題に関する情報公開の有無について項目別にみると、「採択件数」、「採択された研究課題名」および「採択された研究者の氏名・研究機関名」の3項目について対象となる制度すべて(39制度)で公開している。「応募件数」については36制度、「採択された研究内容(研究計画書等)」については24制度、「採択された研究課題に係る配分額」については23制度で公開している。

表 2-15 審査結果・採択課題に関する情報公開の有無(資金配分制度別)

【法人名】資金配分制度名	応募件数	採択件数	採択された研究課題名	採択された研究課題に係る配分額	採択された研究者の氏名・研究機関名	採択された研究内容(研究計画書等)
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	○	○	○	○	○	○
【NICT】民間基盤技術研究促進制度	○	○	○	×	○	○
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業除く)	○	○	○	○	○	○
【JST】企業研究者活用型基礎研究推進事業	○	○	○	×	○	△
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業	○	○	○	×	○	△
【JST】社会技術研究開発事業	○	○	○	×	○	○
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業	○	○	○	×	○	○
【JST】研究成果最適展開支援事業	○	○	○	×	○	△
【JST】高度研究人材活用促進事業	△	○	○	×	○	△
【JST】産学共同シーズイノベーション化事業	/	/	/	/	/	/
【JST】独創的シーズ展開事業	/	/	/	/	/	/
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業	○	○	○	×	○	△
【JST】地域イノベーション創出総合支援事業	○	○	○	×	○	○
【JST】バイオインフォマティクス推進センター事業	○	○	○	×	○	○
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(研究交流型)	○	○	○	×	○	○
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(共同研究型)	○	○	○	×	○	○
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力事業	○	○	○	×	○	○
【JST】地域結集型共同研究事業	/	/	/	/	/	/
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(S))	○	○	○	○	○	○
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(A))	○	○	○	○	○	×
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(B))	○	○	○	○	○	×
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(C))	○	○	○	○	○	×
【JSPS】科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)	○	○	○	○	○	×
【JSPS】科学研究費補助金(若手研究(S))	○	○	○	○	○	○
【JSPS】科学研究費補助金(若手研究(スタートアップ))	○	○	○	○	○	×
【JSPS】科学研究費補助金(奨励研究)	○	○	○	○	○	×
【JSPS】科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	○	○	○	○	○	×
【JSPS】科学研究費補助金(学術創成研究費)	○	○	○	○	○	○
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	○	○	○	○	○	○
【NIBIO】医薬品・医療機器実用化研究支援事業	○	○	○	○	○	○
【NIBIO】希少疾病用医薬品等試験研究助成金	○	○	○	×	○	×
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	○	○	○	○	○	○
【NARO】民間実用化研究促進事業	○	○	○	○	○	○
【NEDO】ナショナルプロジェクト	○	○	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(競争的資金制度を除く)	○	○	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(大学発事業創出実用化研究開発事業)	○	○	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(エコイノベーション推進事業)	○	○	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(エネルギー使用合理化戦略的開発)	○	○	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(省エネルギー革新技术開発事業)	○	○	○	○	○	○
【NEDO】技術シーズの育成事業(産業技術研究助成事業)	○	○	○	○	○	○
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型大型研究	×	○	○	×	○	×
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型特別研究	×	○	○	×	○	×

○: 公開している
△: 現在未公開だが、今後公開予定
×: 公開していない(現時点で公開予定なし)
/: 対象外(新規採択終了など)

審査内容と結果に関する応募者へのフィードバック状況について項目別にみると、「申請課題に関する審査内容」では 35 制度、「応募内容（研究計画等）に関する総評」では 25 制度、「審査員毎の評価・意見」では 10 制度、「その他審査資料（審査項目毎の審査点数等）」では 20 制度が「フィードバックしている」としている。

表 2-16 審査内容と結果に関する応募者へのフィードバック状況(資金配分制度別)

【法人名】資金配分制度名	申請課題に関する審査内容	応募内容(研究計画等)に関する総評	審査員毎の評価・意見	その他審査資料(審査項目毎の審査点数等)
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	○	○	○	○
【NICT】民間基盤技術研究促進制度	○	○	○	○
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業除く)	○	○	×	×
【JST】企業研究者活用型基礎研究推進事業	○	○	×	×
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業	○	○	×	×
【JST】社会技術研究開発事業	○	○	×	×
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業	○	○	×	×
【JST】研究成果最適展開支援事業	○	○	×	×
【JST】高度研究者人材活用促進事業	○	○	×	×
【JST】産学共同シーズイノベーション化事業	○	○	×	×
【JST】独創的シーズ展開事業	○	○	×	×
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業	○	○	×	×
【JST】地域イノベーション創出総合支援事業	○	○	×	×
【JST】バイオインフォマティクス推進センター事業	○	○	×	×
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(研究交流型)	○	○	×	×
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(共同研究型)	○	○	×	×
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力事業	○	○	×	×
【JST】地域結集型共同研究事業	○	○	×	×
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(S))	○	×	×	○
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(A))	○	×	×	○
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(B))	○	×	×	○
【JSPS】科学研究費補助金(基盤研究(C))	○	×	×	○
【JSPS】科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)	○	×	×	○
【JSPS】科学研究費補助金(若手研究(S))	○	×	×	○
【JSPS】科学研究費補助金(若手研究(スタートアップ))	○	×	×	○
【JSPS】科学研究費補助金(奨励研究)	○	×	×	○
【JSPS】科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	○	×	×	○
【JSPS】科学研究費補助金(学術創成研究費)	○	×	×	○
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	○	○	○	○
【NIBIO】医薬品・医療機器実用化研究支援事業	×	×	×	×
【NIBIO】希少疾病用医薬品等試験研究助成金	×	×	×	×
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	○	○	×	×
【NARO】民間実用化研究促進事業	○	○	×	×
【NEDO】ナショナルプロジェクト	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(競争的資金制度を除く)	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(大学発事業創出実用化研究開発事業)	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(エコイノベーション推進事業)	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(エネルギー使用合理化戦略的開発)	○	○	○	○
【NEDO】実用化・企業化促進事業(省エネルギー革新技術開発事業)	○	○	○	○
【NEDO】技術シーズの育成事業(産業技術研究助成事業)	○	○	○	○
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型大型研究	×	×	×	×
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型特別研究	×	×	×	×

○:フィードバックしている
×:フィードバックしていない(現時点で予定なし)
/:対象外(新規採択終了など)

フィードバックに関するその他の取組として特筆すべきものとしては、以下の事例が挙げられる。

- 科学研究費補助金事業では、書面及び合議による 2 段階のピア・レビューによる審査を行っている。審査方針・評定基準等の審査に関する規程は、公正性・透明性を高めるため、応募受付前に公開している。基盤研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち、希望者には、細目(分野)におけるおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、平成 22 年度から、定型所見を開示している。なお、同じく平成 22 年度から、従来のハガキによる開示方法を電子システム(Web)による開示方法に変更した。なお、特別推進研究では、全ての応募者に、採否の理由を含む審査結果の所見を通知している。【日本学術振興会「科学研究費補助金」】

審査内容と結果に関する応募者へのフィードバックについて、各資金配分制度の取組を以下に示す。（その法人の資金配分制度で共通の場合は、法人名のみ記載）

<p>①「審査課題に関する審査内容」、「応募内容」、「審査員毎の評価・意見」および「その他審査資料」をフィードバックしている</p>	<p>○ 情報通信研究機構 ○ 新エネルギー・産業技術総合開発機構 ○ 医薬基盤研究所（保健医療分野における基礎研究推進事業）</p>
<p>②「審査員毎の評価・意見」および「その他審査資料」をフィードバックしていない</p>	<p>○ 科学技術振興機構 ○ 農業・食品産業技術総合研究機構</p>
<p>③「応募内容」および「審査員毎の評価・意見」をフィードバックしていない</p>	<p>○ 日本学術振興会</p>
<p>④「審査課題に関する審査内容」、「応募内容」、「審査員毎の評価・意見」および「その他審査資料」をフィードバックしていない</p>	<p>○ 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 ○ 医薬基盤研究所（医薬品・医療機器実用化研究支援事業、希少疾病用医薬品等試験研究助成金）</p>

②～④に該当する資金配分制度については、資金配分における公平性・透明性のより一層の向上に向けて、審査内容・結果等のフィードバックに関して、さらなる改善が望まれる。

審査内容と結果に関する応募者へのフィードバックの阻害要因としては、以下の事例があげられる。

- 科学研究費補助金事業では、大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率20数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員毎の評価・意見をフィードバックすることは困難である。ただし、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表している。また、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証を行っている。さらには、審査方法の見直しについての検討を行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。【日本学術振興会「科学研究費補助金」】

(5) 申請負担の軽減

研究費の申請における負担軽減に関する取り組みは、e-Radを活用しているとの回答やホームページを活用した募集情報や応募書類の提供に関して複数法人から回答があった。特筆すべき回答としては以下のものがあった。

- 応募者の申請に対する支援を充実するため、当機構と連携する全国5大学から、技術及び事業化に関するアドバイスを受けることができることとしている。【情報通信研究機構「民間基盤技術研究促進制度」】

2.3.2 PD・POの充実・強化

第3期科学技術基本計画では、「競争的資金の配分機能を独立した配分機関へ移行させることを基本」としつつ、配分機関に対して「プログラムディレクター（PD）、プログラムオフィサー（PO）のみならず、その活動を支援するための調査分析機能や、審査・交付・管理等に係る実務機能の充実・強化」を求めている。

（1）PD・POの配置状況

資金配分制度毎のPD数、PO数の登用状況を表2-17に示す。平成21年度では、各法人のすべての競争的資金制度において、PD・POが各々最低1名は登用されていることがわかる。

PD・PO一人当たりには換算した配分額をみると、最も金額が大きいのは、PDでは日本学術振興会¹の約244億円／人、POでは医薬基盤研究所の「保健医療分野における基礎研究推進事業」の約13億円／人であった。PD・PO一人当たりには換算した採択課題数をみると、PD・POいずれもについて日本学術振興会が多く、PDでは3,492課題／人、POでは157課題／人であった。昨年度の採択課題数が最も多い制度も日本学術振興会で、PDでは5,476課題／人、POでは149課題／人である。平成20年度と比較するとPD一人当たりの採択課題数が減少している。

なお、日本学術振興会のPD・POは審査・評価そのものには関与しないため、一人当たりには換算した配分額、採択課題数は参考である。

¹ 日本学術振興会「科学研究費補助金」のPD・POの人数は学術システム研究センターにおけるPD・PO数であり、資金配分制度毎には配置していない。

表 2-17 競争的資金配分制度における PD・PO 数の推移

【法人名】資金配分制度名	PDの人数(人)		PD一人当たりの配分額 (百万円)		PD一人当たりの採択件 数		POの人数(人)		PO一人当たりの配分額 (百万円)		PO一人当たりの採択件 数	
	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度
【NICT】新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援	1	1	207	283	14	21	1	1	207	283	14	21
【NICT】民間基盤技術研究促進制度	1	1	1,674	3,083	3	3	3	3	558	1,028	1	1
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業を除く)	8	8	5,815	5,151	39	37	72	80	646	515	4	4
【JST】企業研究者活用型基礎研究推進事業	1	1	286	286	58	58	3	3	95	95	19	19
【JST】戦略的イノベーション創出推進事業	1	1	650	650	18	18	4	4	163	163	5	5
【JST】社会技術研究開発事業	1	1	1,244	1,078	24	27	6	6	207	180	4	5
【JST】先端計測分析技術・機器開発事業	2	2	3,297	2,802	35	21	10	8	659	701	7	5
【JST】研究成果最適展開支援事業	1	1	2,151	2,151	283	283	14	14	154	154	20	20
【JST】高度研究人材活用促進事業	1	1	7	7	28	28	1	1	7	7	28	28
【JST】産学共同シーズイノベーション化事業	1	1	1,854	1,854	126	126	5	5	371	371	25	25
【JST】独自のシーズ展開事業	1	1	7,475	7,475	44	44	15	15	498	498	3	3
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業	1	1	126	126	10	10	2	2	63	63	5	5
【JST】地域イノベーション創出総合支援事業	1	1	11,074	8,542	2,172	1,659	18	17	615	502	121	98
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業(共同研究型)	1	1	77	77	3	3	2	2	38	38	2	2
【JST】地球規模課題対応国際科学技術協力事業	1	1	1,032	77	17	12	5	4	206	19	3	3
【JSPS】科学研究費補助金	5	3	24,402	41,208	3,492	5,476	111	110	1,099	1,124	157	149
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	1	1	8,093	8,054	21	16	6	3	1,349	2,685	4	5
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	1	1	6,547	6,571	32	36	16	15	409	438	2	2
【NEDO】実用化・企業化促進事業(大学発事業創出実用化研究開発事業)	3	4	748	528	9	6	10	9	224	235	3	3
【NEDO】実用化・企業化促進事業(エコイノベーション推進事業)	3	4	122	80	12	15	10	9	37	35	4	7
【NEDO】実用化・企業化促進事業(エネルギー・省エネルギー技術開発事業)	1	1	3,921	2,335	1	5	29	23	135	102	0	0
【NEDO】実用化・企業化促進事業(省エネルギー技術開発事業)	1	1	3,181	3,181	50	50	29	29	110	110	2	2
【NEDO】技術シーズの育成事業(産業技術研究助成事業)	3	4	1,472	1,200	31	19	10	10	442	480	9	8
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型大型研究	2	2	149	205	1	1	2	2	149	205	1	1
【JOGMEC】石油天然ガス開発促進型特別研究	2	2	218	218	2	2	2	2	218	218	2	2

(注) 【JST】地域結集型共同研究事業は、平成 16 年度を以て新規課題の採択を終了しているため除外した。なお、【JST】産学共同シーズイノベーション化事業および【JST】独自のシーズ展開事業は、平成 20 年度を以て新規採択を終了している。

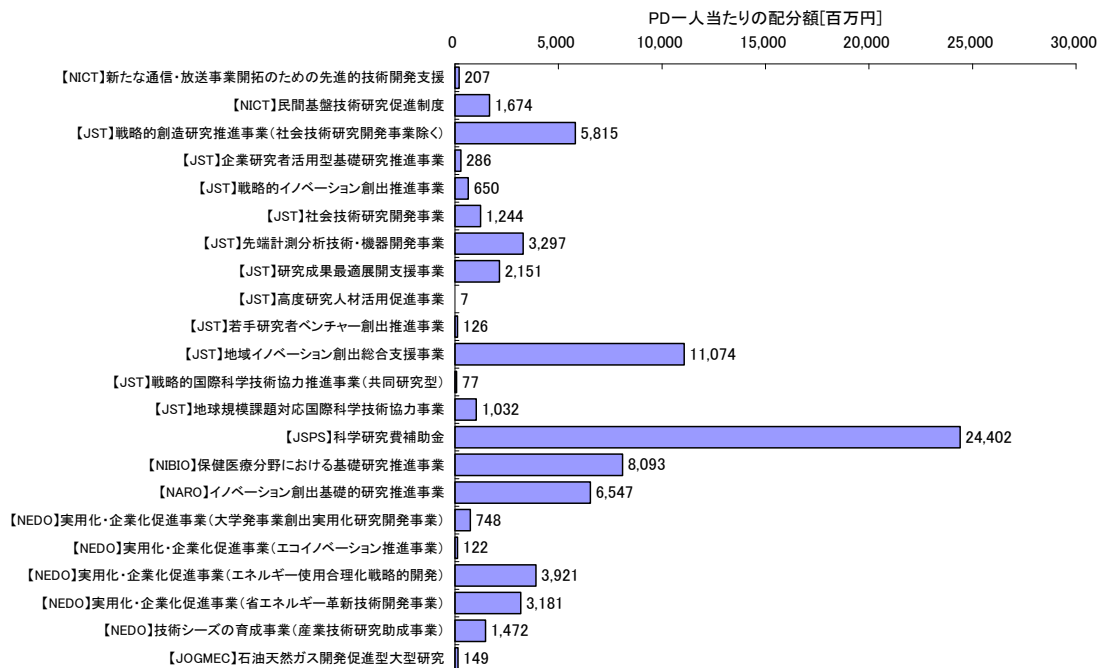


図 2-12 競争的資金配分制度における PD 一人当たりの配分額（資金配分制度別）

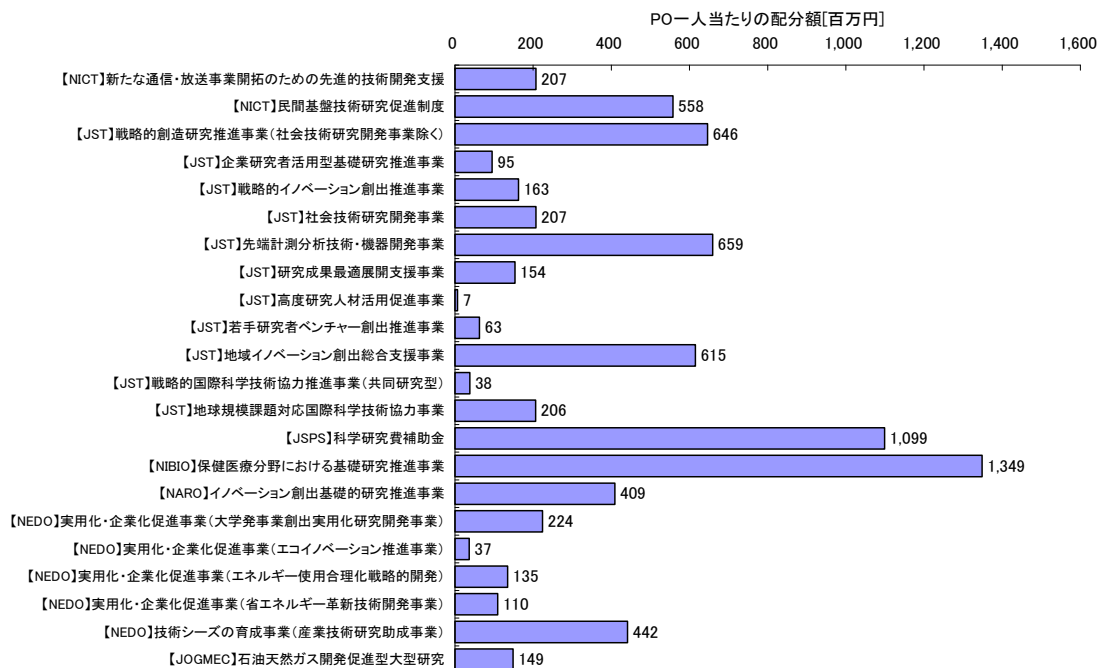


図 2-13 競争的資金配分制度における PO 一人当たりの配分額（資金配分制度別）

(2) PD・POの業務

各法人におけるPD・PO業務の実態を整理した結果を表2-18に示す。各法人および資金配分制度の「目標」、「研究フェーズ」、「採択件数」などにより、PD・POの業務に違いが存在している。PD・POをすべての法人・制度で一括りにするのではなく、各制度の特徴に応じた業務のあり方を整理することが必要である。

PD・POの業務や裁量などについて、特に法人毎に異なる部分として以下のものがあげられる。

PD・POの配置	<ul style="list-style-type: none"> ○ POは制度毎ではなく、学術システム研究センターに配置（PDも同様）【日本学術振興会】 ○ POは競争的資金とプロジェクト型研究開発の両方を兼務することで、競争的資金制度において実施され優れた成果を上げたテーマを効率的にプロジェクト化（PDも同様）【新エネルギー・産業技術総合開発機構】
PD・POと採択審査・成果評価業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ PD・POは審査・評価そのものには関わらず【日本学術振興会】 ○ PDは評価会に出席し、とりまとめを実施【科学技術振興機構】 ○ PDは採択課題の選定、実施課題の中止・縮小の判断を実施【石油天然ガス・金属鉱物資源機構】

表 2-18 PD・POの業務

法人名	資金配分制度名	位置付けの明示化	PDの業務							POの業務				
			制度設計	研究領域の設定	POの指名	研究領域間の調整	個別訪問	採択審査・成果評価	加速/廃止等の決定	その他	募集・選考方針の策定	採択審査・成果評価	個別訪問	進捗管理・進行助言
NICT	新たな通信・放送事業開拓のための先進的技術開発支援民間基盤技術研究促進制度	○	○	○								○	○	
JST	戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業除く)	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○
	社会技術研究開発事業	○	○	○	○	○		○				○	○	○
	戦略的国際科学技術協力推進事業(共同研究型)	○	○	○	○	○	○			相手国資源配分機関との調整		○	○	○
	地球規模課題対応国際科学技術協力	○	○	○	○	○	○			JICA連携		○	○	○
	上記以外の競争的資金	○	○	○		○	○	○				○	○	○
JSPS	科学研究費補助金	○	○									○		学術動向調査
NIBIO	保健医療分野における基礎研究推進事業	○	○			○	○					○		○
NARO	イノベーション創出基礎的研究推進事業	○	○			○		○				○	○	○
NEDO	実用化・企業化促進事業 技術シーズの育成事業	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
JOGMEC	石油天然ガス開発促進型大型研究 石油天然ガス開発促進型特別研究	○	○			○		○	○			○	○	○
														不採択理由開示、問合せ対応

2.3.3 資金配分における工夫

(1) 若手研究者の活躍を促進する取組

若手研究者のみを対象とした資金配分制度は5法人で6制度設置されている。なお、若手研究者を対象を限っていないその他36制度のうち10制度では、制度の対象が機関であることをその理由としてあげている。具体的な内容としては、年齢制限を設けた支援制度を設けている法人が多い。

表 2-19 若手研究者のみが対象な制度とその取組（6制度）

【法人名】資金配分制度名	具体的内容・実績
【JST】若手研究者ベンチャー創出推進事業	申請者の要件として、「研究開発開始時点で博士の学位を取得している者もしくは博士課程満期退学者（応募時点では見込みも可）。又は、応募時点では博士課程後期在学中であり、博士の学位を取得した者に相当する能力を有すると認められ、JST起業研究員として本事業に専念できる者。」や「研究開発開始時点で大学等に任期付きで雇用されている期間の合計が10年以下であること。」等を定めている。なお、平成22年度より研究成果最適展開支援事業に再編。
【JSPS】科学研究費補助金（若手研究（S））	42歳以下の研究者が1人で行う研究（期間5年、1億円程度）を対象とする研究種目として平成19年度に新設した。また、従来より、日本学術振興会が公募・審査業務を行い、文部科学省が交付業務を行う、37歳以下の研究者が1人で行う研究（期間2～4年、A:500万円以上3000万円以下、B:500万円以下）を対象とする「若手研究（A・B）」を設けている。なお、平成21年度公募から、若手研究（A・B）の年齢制限を「37歳以下」から「39歳以下」に緩和している。（若手研究（S）については、平成22年度より新規募集を停止している。）
【JSPS】科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	若手研究者である日本学術振興会の特別研究員又は外国人特別研究員が行う研究を対象とする研究種目として設けている。
【NIBIO】保健医療分野における基礎研究推進事業	独創的な発想に基づく創薬プロセスに関して、若手研究者（37歳以下）が単独で行う研究を対象としている。基礎研究推進事業では、「独創的な発想に基づく創薬プロセスに関して、若手研究者が単独で行う研究」というテーマで若手研究者の研究課題の採択を行っている。
【NARO】イノベーション創出基礎的研究推進事業	過去の実績よりも柔軟な発想に基づく挑戦的な研究課題の提案を期待して、若手研究者（原則39歳以下）を対象とした枠を設けている。
【NEDO】技術シーズの育成事業（産業技術研究助成事業）	大学・公的研究機関等における若手研究者（原則40歳未満）による産業界のニーズに基づいた研究開発活動を助成する産業技術研究助成事業を実施している。